

### 厳冬期のみ現れる幻の水瀑

## 河原谷難所ヶ滝に大氷柱

年始の大寒波で三郡山系の河原谷難所ヶ滝で大氷柱が出現しました。このところの暖冬で、久しぶりに見ごたえのある大氷柱に成長しました。

大みそかに続き1月9日に二度目の登山をされた、四王寺坂在住の高木愛恵美さんは、「水の滝は大晦日の時とは違って荒々しい感じ。見に来るたびにその表情が違うのが面白いです」とSNSで情報発信されていました。

難所ヶ滝へは、宇美町の一本松公園まで車で行けますが、積雪時にはチェーンが必要です。また、雪山対策の装備をしっかり行って雪山登山を楽しんでください。滑り止めのアイゼンは必須です。

宇美町議会も宇美町の宝物を発掘し皆様にお知らせすることで、郷土（ふるさと）への愛着を広めていきたいと考えています。

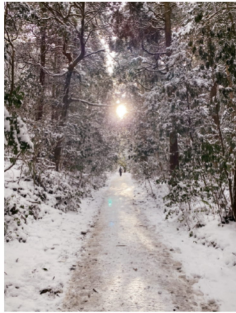


難所ヶ滝は厳冬期のみ出現する幻の滝と言われています。岩肌に滴る雪解け水が凍りつくことで見事な氷瀑が出現します。

平地で最低気温マイナス3度以下が数日続いたときだけ現れ、これだけ見事な大氷柱ができたのは久しぶりと言われています。



可愛らしい雪ダルマがあちこちに



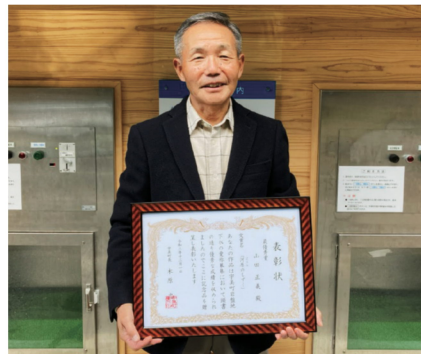
宇美林道河原谷支線に光の道

### 三郡山系岩盤地下水の名称は

## 河原(ごうら)のしずくに決定

一本松公園にある三郡山系岩盤地下水の愛称が「河原(ごうら)のしずく」に決定しました。

河原のしずくで淹れたお茶やコーヒーは格別です。今後は、町の魅力をアピールする看板の設置を予定していますので、「宇美の岩盤地下水河原(ごうら)のしずく」をぜひご利用ください。議会としても周知に努め、応援していきます。



命名者の山田正義さん



### 防災教育に力を入れています

## いざという時に使える知恵を身につけよう



井野小学校

防災キャンプで段ボールを使ったパーティションづくりを体験しました。

宇美町役場では昨年1月の機構改革により、危機管理課が発足し、職員が出前講座による講師やゲストティーチャーとなって、各小中学校の防災教育に力を入れています。

井野小学校では、10月15日・16日に校内防災キャンプが開かれ、避難所設営を想定して段ボールでパーティションを作成し、防災クッキングなどをチャレンジされました。

また、宇美東小学校では、10月23日の防災授業にてバケツリレーや水消火器を使った消火訓練が行われ、宇美南中学校では、11月14日に防災教育として、災害時に避難所で自分たちが何ができるのかをテーマに話し合いが行われました。このように、今後、各学校で定期的に防災教育や訓練を実施されることを期待しつつ、議会として防災教育の充実に向けて支援していきます。



宇美東小学校

バケツリレーによる消火訓練を体験。仲間と共同して、素早く消火活動に努める行動がいざという時に役に立ちます。



消火器の正しい使い方を学ぶために、水消火器を使った消火訓練を実施しました。



宇美南中学校

中学生になると避難された高齢者等をサポートする側に回らなくてはならないという自覚が大切になってきます。

これまでは体育館で難易度が高かった避難所でしたが、感染症対策やプライバシーを確保するために有効なパーティションの設置方法を学びました。

このパーティションは国の交付金を活用して購入され、9月の台風の接近時にも使われました。



「災害が起こったとき、避難所で自分たちができることについて考えよう」をテーマに各自治会ごとに分かれて話し合いを行いました。

いざ災害が発生した際、パニックにならずに迅速な行動をとるためには、頭を整理しておく必要があり、事前準備と心構えの備え、机上訓練などの体験が重要な役割を果たします。